

基本目標

※各基本目標の詳しい説明は紙面の都合により省略しています。

まちの将来像を具体化するため、市の施策を5つの行政分野に整理し、各分野で目指す姿と取り組みの方向性を示す「基本計画」を設定しています。

1.産業 だれもがやりがいある働きと活躍を創出できるまち

基本施策の内容：農畜産業の振興、林業の振興、商業の振興、観光の振興、工業の振興

2.保健・医療・福祉 だれもが健やかな心身を育めるまち

基本施策の内容：地域医療・福祉の充実、予防・健康づくりの推進、子ども・子育て・若者支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実

3.教育・文化・スポーツ だれもがふるさとを愛し誇りを持ち続けられるまち

基本施策の内容：学校教育の充実、生涯学習・生涯スポーツの推進、地域の歴史・文化の継承と振興

4.生活環境基盤 だれもが安心して安全な暮らしが営めるまち

基本施策の内容：上下水道の維持・整備、快適な住環境の整備、交通ネットワークの充実、環境保全の推進、交通安全・防犯対策の強化、消防・防災・救急体制の充実

5.市民活動・市政運営 だれもが互いに尊重し合いともに協働できるまち

基本施策の内容：市民活動の推進と行政との連携、健全な行財政運営、人権尊重社会の形成、移住・定住の促進

分野を横断した戦略的取り組み

本計画では「SDGs」「ゼロカーボン」「DX」の3つを、すべての施策に共通する重要な視点としています。これらを横断的に推進することで、環境に配慮し、デジタルを活用しながら、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指します。

施策の体系

まちの将来像の実現に向けた施策の体系を示したものです。5つの行政分野ごとに基本目標・基本施策を整理し、相互の関係性を体系的に構成しています。



第3次北秋田市総合計画の全文は、市ホームページで公開予定です。右の二次元コードからご覧いただけます。今後も市民の皆さんとともに、よりよい北秋田市のまちづくりを進めていきます。



総合政策課政策係 ☎62-6606

第3次北秋田市総合計画を策定しました

これからの10年、北秋田市はどのようなまちを目指すのか――。

市の最上位計画である「第2次北秋田市総合計画」が令和7年度で終了することから、新たに令和8年度から令和17年度までを期間とする「第3次北秋田市総合計画」を策定しました。

策定にあたり、市内各分野の有識者や公募市民で構成する「第3次北秋田市総合計画等策定審議会」での議論を重ねるとともに、市民や地元中学生を対象としたワークショップの開催、市民アンケートやパブリックコメントの実施を通じて、多くのご意見・ご提案を反映しながら作業を進め、令和7年10月に、同審議会から答申を受けています。

市では、この答申を踏まえて計画案を取りまとめ、令和7年北秋田市議会12月定例会での議決を経て「第3次北秋田市総合計画」を策定しました。今後は、本計画に掲げる将来像の実現に向け、市民の皆さんとともに力を合わせながら、各種施策を着実に進めていきます。

目指すまちの将来像

森と歴史が息づき、幸せを紡ぐまち 北秋田～だれもが関わり、未来を築く～

本市には「森吉山」に象徴される雄大で豊かな自然と、世界文化遺産に登録された「伊勢堂岱遺跡」をはじめとする歴史・文化が存在し、これらの地域資源は市民の誇りであり、未来へと引き継ぐべき大切な財産です。

目指すまちの将来像には、これらの自然や歴史・文化を未来へ引き継ぎながら、市民一人ひとりが役割を持ち、支え合い、だれもが安心して幸せに暮らせる持続可能なまちを築いていくという想いが込められています。

人口の将来展望

※参考：国による人口推計では、令和12年が24,025人、令和32年が13,396人。

令和7年12月末現在：27,155人→令和12年予測：24,129人→令和32年予測：14,370人

本市では、こうした人口減少の流れを少しでも緩やかにし、持続可能な地域社会を築くことを目標に各種施策に取り組んでいきます。

重点目標

人口減少や少子高齢化という本市最大の課題に対し、その進行を少しでも緩やかにし、持続可能な地域社会を築くため、重点目標として次の3つの柱を掲げました。

1.年齢や性別を問わず、希望を持って安心して暮らせる生活環境の創生

本市では、高齢化の進行や若年層の都市部への流出が続くなか、だれもが安心して暮らし、働ける環境の整備が求められています。今後は、医療・福祉サービスの充実や子育て支援の強化、働く世代が地域に定着できる雇用の場の確保などを通じて、年齢や性別を問わず市民一人ひとりが自分らしく暮らせる生活基盤の創生を目指し、市民の「暮らしの質」や「幸福度の向上」を図ります。また、多様なライフスタイルに対応した住環境の整備や、地域コミュニティの活性化、防災・減災の視点を取り入れたまちづくりを推進し、若者を含むだれもが希望を持って、安心とやすらぎを感じられるまちづくりを進めていきます。

2.豊かな自然や文化など地域資源を最大限活用した高付加価値・高効率型の事業創出

大いなる自然に囲まれ、伝統文化や歴史、特産品に恵まれた北秋田市は、他地域にはない独自の魅力を持つ地域資源の宝庫です。こうした地域の強みを生かし、観光や農林業、ものづくりなどの分野で、付加価値の高い新たなビジネスやサービスの創出を促進します。特に、持続可能な形で自然と共生する観光コンテンツの開発や、地元の素材を活用したブランド商品の展開、文化資源を生かした体験型プログラムの展開などに取り組み、地域経済の活性化と雇用創出につなげていきます。これらの取り組みにより、地域資源を最大限に活用した高付加価値・高効率型の事業を創出し、市全体の経済活性化を図ります。

3.都市や世界とつながり続けることで関係人口とふるさと回帰を創出

本市では、人口減少と少子高齢化が深刻な課題となっています。その緩和策として、都市部との新たなつながりを築く「関係人口」の創出や、Uターン・Iターンによる移住者の受け入れが重要な鍵を握っています。市外出身者や地元出身者との継続的な関わりを通じて、地域に関心を持ち、支援し、やがては移住・定住へとつながる流れを育てていきます。地域の魅力を効果的に発信し、地域活動や仕事の受け皿を整えることで、「北秋田に関わるヒト」が増え続ける仕組みづくりを推進します。これらの取り組みを通じて、地域との多様な関わりを広げながら、移住・定住の促進による人口減少抑制を目指します。